

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公開番号】特開2007-241364(P2007-241364A)

【公開日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-036

【出願番号】特願2006-59020(P2006-59020)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 K

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソースプログラムを生成するプログラム生成装置であって、

ソースプログラム内の分割してコンパイル可能なエリアを識別するための分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含むプログラムテンプレートを記憶する記憶手段と、  
入出力に関する定義情報と、前記記憶手段に記憶されたプログラムテンプレートにより、前記分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含む第 1 ソースプログラムを生成する第 1 ソースプログラム生成手段と、

前記第 1 ソースプログラム生成手段により生成された第 1 ソースプログラムに含まれる分割エリア開始マークと分割エリア終了マークの間にある第 1 ソースプログラムの分割部分を読み込む分割部分読込手段と、

前記分割部分読込手段により読み込まれた第 1 ソースプログラムの分割部分から第 2 ソースプログラムを生成する第 2 ソースプログラム生成手段と、  
を有することを特徴とするプログラム生成装置。

【請求項 2】

前記第 2 ソースプログラム生成手段により生成された第 2 ソースプログラムを取り込むためのプログラムを、前記第 2 ソースプログラムに対応する前記第 1 ソースプログラムの分割部分の代わりとして前記第 1 ソースプログラム内に挿入する第 1 の挿入手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム生成装置。

【請求項 3】

前記分割部分読込手段は、

前記生成手段により生成された第 1 ソースプログラムに含まれる分割エリア開始マークと分割エリア終了マークとの間で分割する分割単位プログラムを特定する特定手段を含み、

前記第 2 ソースプログラム生成手段は、

前記特定手段により特定された分割単位プログラム毎に、前記第 2 ソースプログラムを生成することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のプログラム生成装置。

【請求項 4】

前記分割部分読込手段は、

前記生成手段により生成された第 1 ソースプログラムに含まれる分割エリア開始マーク

と分割エリア終了マークとの間で分割する分割単位プログラムを特定する特定手段を含み、

前記第 2 ソースプログラム生成手段は、

前記特定手段により特定される所定数分の分割単位プログラム毎に、前記第 2 ソースプログラムを生成することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のプログラム生成装置。

【請求項 5】

前記分割部分読込手段は、

前記生成手段により生成された第 1 ソースプログラムに含まれる分割エリア開始マークと分割エリア終了マークとの間で分割する分割単位プログラムを特定する特定手段を含み、

前記第 2 ソースプログラム生成手段は、

前記特定手段により特定される複数の分割単位プログラムの合計サイズが、制限値を超えない最大数の分割単位プログラム毎に、前記第 2 ソースプログラムを生成することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のプログラム生成装置。

【請求項 6】

前記分割エリア開始マーク及び前記分割エリア終了マークは、分割後も共通に必要なエリアを識別するための第 1 分割エリア開始マーク及び第 1 分割エリア終了マークと、ソースプログラムの分割可能なエリアを識別するための第 2 分割エリア開始マーク及び第 2 分割エリア終了マークを含むものであり、

前記特定手段は、前記生成手段により生成された第 1 ソースプログラムに含まれる第 1 分割エリア開始マーク及び第 1 分割エリア終了マークに基づいて分割後も共通に必要な共通プログラムを特定し、前記第 1 ソースプログラムに含まれる第 2 分割エリア開始マーク及び第 2 分割エリア終了マークに基づいて分割単位となる分割単位プログラムを特定するものであり、

前記第 2 ソースプログラム生成手段は、前記特定手段により特定される共通プログラムと分割単位プログラムにより、前記第 2 ソースプログラムを生成することを特徴とする請求項 3 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のプログラム生成装置。

【請求項 7】

前記分割部分読込手段は、

前記分割した複数の第 2 ソースプログラムの合計サイズが、制限値を超えない最大数の前記第 2 ソースプログラムを合体させて第 3 ソースプログラムを生成する第 3 ソースプログラム生成手段と、

前記第 3 ソースプログラム生成手段により生成された第 3 ソースプログラムを取り込むためのプログラムを、前記第 3 ソースプログラムに対応する前記第 2 ソースプログラムの代わりとして前記第 1 ソースプログラム内に挿入する第 2 の挿入手段と、  
を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム生成装置。

【請求項 8】

前記制限値は、コンパイル可能な最大のソースプログラムサイズを示すことを特徴とする請求項 5 又は 7 に記載のプログラム生成装置。

【請求項 9】

ソースプログラムを生成するプログラム生成方法であって、

第 1 ソースプログラム生成手段が、入出力に関する定義情報と、記憶手段に記憶される、ソースプログラム内の分割してコンパイル可能なエリアを識別するための分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含むプログラムテンプレートにより、前記分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含む第 1 ソースプログラムを生成する第 1 ソースプログラム生成ステップと、

分割部分読込手段が、前記第 1 ソースプログラム生成ステップで生成された第 1 ソースプログラムに含まれる分割エリア開始マークと分割エリア終了マークの間にある第 1 ソースプログラムの分割部分を読み込む分割部分読込ステップと、

第 2 ソースプログラム生成手段が、前記分割部分読込ステップで読み込まれた第 1 ソースプログラムの分割部分から第 2 ソースプログラムを生成する第 2 ソースプログラム生成

ステップと、  
を有することを特徴とするプログラム生成方法。

【請求項 10】

コンピュータを、  
ソースプログラム内の分割してコンパイル可能なエリアを識別するための分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含むプログラムテンプレートを記憶する記憶手段、  
入出力に関する定義情報と、前記記憶手段に記憶されたプログラムテンプレートにより、前記分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含む第 1 ソースプログラムを生成する第 1 ソースプログラム生成手段、  
前記第 1 ソースプログラム生成手段により生成された第 1 ソースプログラムに含まれる分割エリア開始マークと分割エリア終了マークの間にある第 1 ソースプログラムの分割部分を読み込む分割部分読込手段、  
前記分割部分読込手段により読み込まれた第 1 ソースプログラムの分割部分から第 2 ソースプログラムを生成する第 2 ソースプログラム生成手段、  
として機能させるためのプログラム。

【請求項 11】

コンピュータを、  
ソースプログラム内の分割してコンパイル可能なエリアを識別するための分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含むプログラムテンプレートを記憶する記憶手段、  
入出力に関する定義情報と、前記記憶手段に記憶されたプログラムテンプレートにより、前記分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含む第 1 ソースプログラムを生成する第 1 ソースプログラム生成手段、  
前記第 1 ソースプログラム生成手段により生成された第 1 ソースプログラムに含まれる分割エリア開始マークと分割エリア終了マークの間にある第 1 ソースプログラムの分割部分を読み込む分割部分読込手段、  
前記分割部分読込手段により読み込まれた第 1 ソースプログラムの分割部分から第 2 ソースプログラムを生成する第 2 ソースプログラム生成手段、  
として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明は、ソースプログラムを生成するプログラム生成装置であって、プログラム内の分割してコンパイル可能なエリアを識別するための分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含むプログラムテンプレートを記憶する記憶手段と、入出力に関する定義情報と、前記記憶手段に記憶されたプログラムテンプレートにより、前記分割エリア開始マークと分割エリア終了マークを含む第 1 ソースプログラムを生成する第 1 ソースプログラム生成手段と、前記第 1 ソースプログラム生成手段により生成された第 1 ソースプログラムに含まれる分割エリア開始マークと分割エリア終了マークの間にある第 1 ソースプログラムの分割部分を読み込む分割部分読込手段と、前記分割部分読込手段により読み込まれた第 1 ソースプログラムの分割部分から第 2 ソースプログラムを生成する第 2 ソースプログラム生成手段とを有することを特徴とする。